

平成19年度山梨県建築文化賞等選評

| 賞の名称    | 部門     | 建築物の名称                           | 選評  |
|---------|--------|----------------------------------|---|
| 建築文化賞   | 一般建築物等 | Nakamura Keith Haring Collection | <p>北杜市小淵沢町の南アルプスを望む林の中に建設された温泉施設併設の平屋建ての美術館である。建物は周辺環境に配慮し、既存樹木を保全しながら現況の地形に沿うよう計画されている。</p> <p>美術館はアメリカのアーティスト、キース・ヘリングの作品を展示するために計画されたものである。3つに分けられた展示室「闇」、「ジャイアントフレーム」、「希望」は作品をより純粋に感受できるように配慮した空間構成となっており、「光」を媒体としたその演出はみごとである。</p> <p>外観の象徴的な形態が、そのまま内部空間に表出されている建物であり、この美術館の最も重要な空間として位置づけられている展示室「希望」の天井は、懸垂曲面の屋根の形態をそのまま裏返しにした形状となっている。この天井面に照射された間接光だけで展示空間としての照度を確保し、天井から拡散した光が空間全体をやわらかく包んでいる。</p> |
|         | 公共建築物等 | 大月市立猿橋小学校校舎                      | <p>大月市の北斜面狭小地の敷地に建設された2階建の校舎である。1階に特別教室、管理部門を配置し、2階は普通教室を配置して防犯にも配慮した計画となっている。</p> <p>また、中央の共用廊下は校舎の「メインストリート」として機能し、多目的に使えるさまざまなコーナーを設け、敷地の傾斜を利用した変化のある内部空間は、随所に教室とセットで設けられた外部テラスに面することによって、校舎が南北軸であるハンディを克服し、採光や通風を確保して明るく快適な環境を実現するとともに、子ども達の自発的な遊びやコミュニケーションの場を提供している。</p> <p>小学校に必要な要素を随所に取り入れ全体的によくまとまっており、特に大きな廊下、内外部空間のつながり、オープンスクールの処理の仕方は特筆すべきところがある。</p>   |
| 建築文化奨励賞 | 住宅建築   | 山中湖の家                            | <p>西に富士山を望むことができる山中湖の南の林の中に建つ住宅である。</p> <p>建物は、二つの筒状の箱を南北軸と東西軸に据え付け直角に交差させたような形状となっている。南北軸の筒は採光や通風及びアプローチのための開口とし、東西軸の筒は眺望と朝日・夕日の開口と位置づけ設計されている。</p> <p>直方体という単純な形の組み合わせで、外観はシンプルな形状となり、全体的にコンパクトで機能的な計画となっている。</p> <p>1階は南側と北側のシャッターを開けるとフルオープンとなり、半屋外となった空間は開放感を感じさせ、また、天井が高い2階の居間は、スペースというよりはボリュームで「住をたのしむ」よう計画され、眺望もすばらしく、内装も床、壁、天井とも木材で仕上げられ、自然を享受できる空間となっている。</p>                                       |
|         | 一般建築物等 | PICA山中湖ヴィレッジ管理棟                  | <p>山中湖南側湖畔の国道沿いに建つ、敷地内の宿泊用コテージの管理とレストラン機能を併せ持つ施設である。</p> <p>「環境」をテーマとして、建築物及び敷地全体が自然環境との調和にこだわり計画されている。本管理棟は切り妻屋根のシンプルな形状で、自然環境豊かな山中湖の風景ともなじんでいる。</p> <p>漆喰や自然系塗料、構造材や内装材に国産の檜や唐松の無垢材を多用して自然素材感を表現する中で、外壁にガラス面を大きく取り、外部の自然との一体感を試みるなど、柔らかく安らぎのある空間を創りだしている。</p> <p>天窓による自然換気や採光、太陽熱を利用した暖房装置、地中熱利用の冷涼装置及び太陽電池の屋根面への設置など自然や環境に配慮した設備を備えた建築物となっている。</p>   |

|             |                              |             |   |
|-------------|------------------------------|-------------|---|
| 建築文化<br>奨励賞 | 一般建築物等                       | o d e t t a | <p>富士山麓の山中湖の森の中に建つ美容院のある併用住宅である。</p> <p>住宅部分と店舗部分を明確にゾーン分けし、視線の処理も上手く計画された不整形躯体の建物である。</p> <p>不整形に幅広く左右にひろがった南面に大きく迫り出した木製のデッキはファジーな空間として外部と内部との融合を実現し、美容院へのアプローチをも自然なものとしている。</p> <p>住宅の食堂、居間は吹き抜けとなった高い天井で、南側全面をガラスとして山中湖の豊かな自然を享受できる快適な生活空間を創り出している。また、赤く塗装された軽快な鉄骨製の螺旋階段は白を基調とした室内にあって機能を備えたオブジェとして存在している。</p>                                  |
|             | 良好なまちなみ<br>景観を形成して<br>いる建築物等 | 長屋門のある土蔵    | <p>大規模の修繕により再生された土蔵造りの門である。甲州市勝沼町のぶどうの果樹園が広がる住宅地にあり、敷地内には同様に再生された木造の主屋がある。</p> <p>外壁の土壁は旧土蔵と同様に木や竹で木舞をかき、下地壁の土は新しい土と混ぜ合わせて再使用している。また、漆喰仕上げの外壁にある妻壁には左官の技を生かした「紋」が施されるなど、日本の伝統的建築手法や職人の熟練した技術を駆使して建物を仕上げている。建築の再生を通して伝統技術が保存、継承されることは評価に値するものである。</p> <p>周辺には白壁の家が多く残っており、勝沼に点在する養蚕民家の典型例として主屋と土蔵の一体的な再生の整備は、山梨の建築文化の伝統継承と良好なまちなみの景観の形成につながっている。</p> |